

令和6年度 大阪市立異中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2-1 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

2-2 「大阪市版チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようにする。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

3 「大阪市英語力調査（GTEC）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。

4 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査の目的

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

令和6年度 大阪市立異中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

1 全国学力・学習状況調査

学年		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
実施月日			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	114	49	42	4.3	12.8
	大阪市	—	56	51	4.1	12.5
4月18日	全国	—	58.1	52.5	3.9	11.3

2 中学生チャレンジテスト

学年		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
実施月日			国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語
3 年	学校	114	55.4	46.3	44.6	49.6	43.6	7.1	4.7	15.6	3.7	9.8
	大阪市	—	65.4	50.2	48.8	52.1	54.0	4.9	4.7	14.3	4.1	6.5
	大阪府	—	65.2	50.4	49.1	52.3	53.6	5.3	5.0	14.8	4.4	6.9
2 年	学校	86	61.8	43.4	44.4	44.1	50.9	10.5	6.1	11.4	7.7	7.5
	大阪市	—	66.1	49.9	51.4	49.5	54.6	8.4	4.6	8.2	6.1	7.0
	大阪府	—	65.5	49.5	50.7	47.2	54.0	9.3	5.2	9.5	7.4	7.9
1 年	学校	84	54.2	47.3	51.7	54.5	57.8	11.1	5.5	6.5	4.2	4.8
	大阪市	—	59.0	53.7	50.5	55.6	62.1	8.3	6.9	7.4	4.6	4.9
	大阪府	—	58.5	—	49.8	—	61.5	9.4	—	8.8	—	5.8

- ※ 1年生の社会・理科については、「大阪市版チャレンジテストplus」として実施
 ※ 1年生の理科は物理的領域を選択
 ※ 2年生の社会はA問題を選択 2年生の理科はB問題を選択
 ※ 3年生の理科はC問題を選択

3 大阪市英語力調査 (GTEC)

学年		生徒数 (人)	読むこと 【リーディング】 (スコア)	聞くこと 【リスニング】 (スコア)	書くこと 【ライティング】 (スコア)	話すこと 【スピーキング】 (スコア)
実施月日						
3 年	学校	114	90.9	86.6	139.0	99.3
10月16日	大阪市	—	105.7	104.6	149.6	102.1

4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学年	生徒数 (人)	握力 (kg)	上体 起こし (数)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトル ラン (回)	持久走 男子1500m 女子1000m (秒)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)	体力 合計点 (点)
	84										
2 年 男 子	学校	27.76	25.35	42.55	47.80	79.30		7.95	196.20	18.89	40.33
	大阪市	28.38	26.42	42.74	51.50	79.76		8.08	194.64	19.98	41.10
	全 国	28.95	25.94	44.47	51.51	78.98		7.99	197.18	20.57	41.86
2 年 女 子	学校	24.08	22.56	43.15	40.50	56.24		8.73	163.25	13.04	48.14
	大阪市	22.99	22.21	45.64	45.86	52.98		9.01	167.01	12.04	47.51
	全 国	23.18	21.56	46.47	45.65	50.67		8.96	166.32	12.40	47.37

令和6年度 大阪市立異中学校のあゆみ
―結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について―

調査結果から

【成果と課題、今後に向けて】

＜全国学力学習状況調査＞

・数学の平均正答率が 42％と大阪府の平均51％を9％下回った。（全国 52.5 ％）
特に図形の問題での正答率が低かった。また、無回答率は12.8％であり、府平均と同じ程度であった。（府は12.6％）
・国語の平均正答率は49％と大阪府の平均57％を8％下回った。（全国58.1％）
特に知識及び技能においての領域において言葉の特徴や使い方に関する事項と情報の扱い方に関する事項、思考判断表現力における領域における、読むことに関する正解率が低かった。また、無回答率は4.3％であり、府平均と同じ程度であった。（府は4.2％）

＜3年生チャレンジテスト結果＞

・国語は対府比の割合は昨年より下がり、府比85％であった。
・数学はR5が対府比で80％、今年度は91％と対府比との差はまだあるが、徐々に近づいている。
・英語はR4は74％、R5は82％、今年度は81％であった。対府比との差が一番大きく、毎年の課題となっている。
・全体平均の対府比はR5は0.86(86％)、今年度は0.88(88％)と少し上がったが、府の平均に比べー12％と差はまだ残る結果となった。
・質問紙調査においては全体的に府の割合を上回る結果はほぼなかった。

＜全国体力・運動能力、運動習慣等調査＞

・体力テストの合計点において女子は今年度も全国平均値を上回ったが、男子は1ポイント下回った。生徒アンケート「運動やスポーツが好き」との肯定的回答は昨年度より1％向上し61％であった。反復横跳びと長座体前屈が平均を男女とも下回ったが、20mシャトル走は大きく上回っていた。
・男女別の体力合計点の結果は【男40.33(41.10) 女48.14(47.37)】(全国平均値)
・全8種目において、全国平均を上回った種目は男子が2種目、女子が5種目であった。合計点において女子は今年度も全国平均値を上回ったが、男子は1ポイント下回った。男女共に20mシャトル走(全身持久力)と走力(50m走)の結果が特によかった。
・生徒アンケート「運動やスポーツが好き」との肯定的回答は昨年度より1％の向上し、61％であった。
・一週間の活動時間が60分未満の生徒は男子は13％、女子は35％であった。特に女子の体を動かす機会が少ない結果となった。

＜大阪市英語力調査(GTEC)＞

・大阪市英語力調査(GTEC)におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)は46.9％となり、大阪市の平均57.5％であったため、約10％下回った。特に読むこと(リーディング)と聞くこと(リスニング)が大阪市の平均を大きく下回っていた。

＜2年生チャレンジテストの結果＞

・2年生のチャレンジテストの対府比の結果、国語は94％、社会は87％、数学は87％、理科は93％、英語は94％となり全教科95％以下であった。無回答率も府の平均を下回ることがなかった。昨年度(1年生時)に比べても府との差が少し広がった。

＜1年生チャレンジテストの結果＞

・1年生のチャレンジテストの対府比の結果、国語は92％、数学は103％、英語は93％となり数学は府の平均を上回った。
・1年生チャレンジテストplus(大阪市独自で実施)では社会が対市比88％、理科が98％であり、2教科とも市の平均を下回った。

●各学年のチャレンジテストの結果より各教科を対府の平均値に近づけることと(1年生の数学は平均を上回ることを維持する)、大阪市英語力調査の結果より、特にリーディングやリスニングを向上させた総合的な英語力を伸ばすことが毎年の課題となっている。継続して英語力や学力向上の対策に重点を置きながら取り組んでいく。

●体力テストの結果より、男女ともに柔軟性・俊敏性・瞬発力の向上が課題となるため、授業(補強運動)や取り組みを通して高めていきたい。また、運動が好きになるような取り組みや行事を入れながら運動(体を動かすことを)を楽しめる生徒をさらに増やしていきたい。

●校内での放課後学習会(テスト前、長期休業中も含む)の継続的な実施により放課後の学習場所を定着させ、各種学力調査の結果向上を目指す。

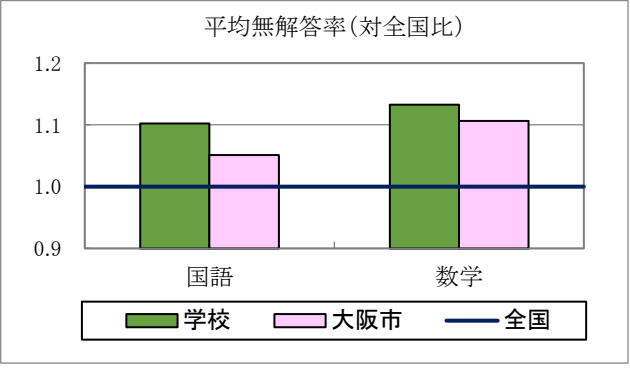
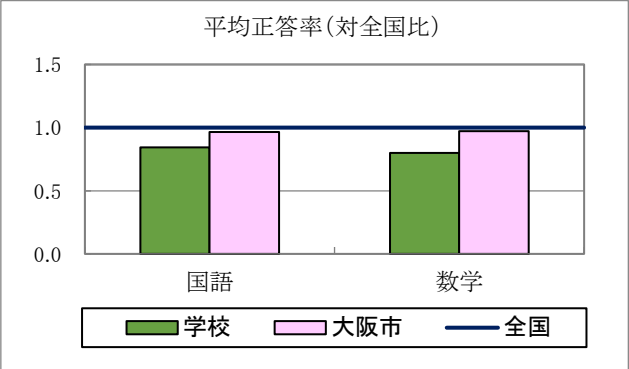
令和6年度 大阪市立異中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【成果と課題】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	49	42
大阪市	56	51
全国	58.1	52.5

平均無解答率(%)	
国語	数学
4.3	12.8
4.1	12.5
3.9	11.3

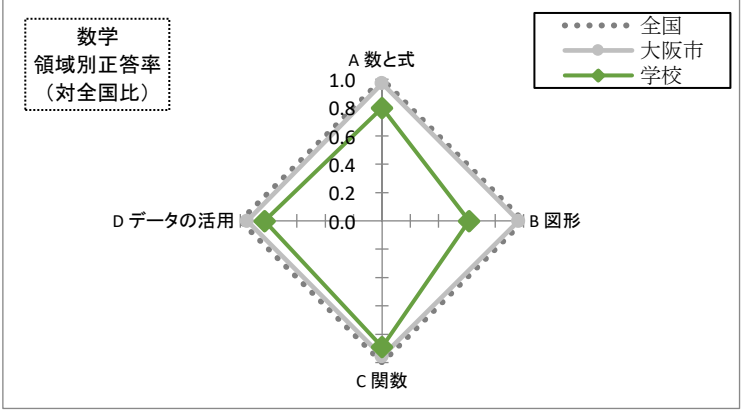
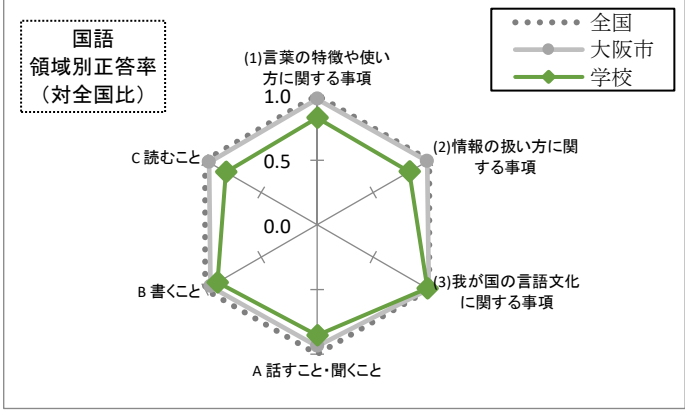
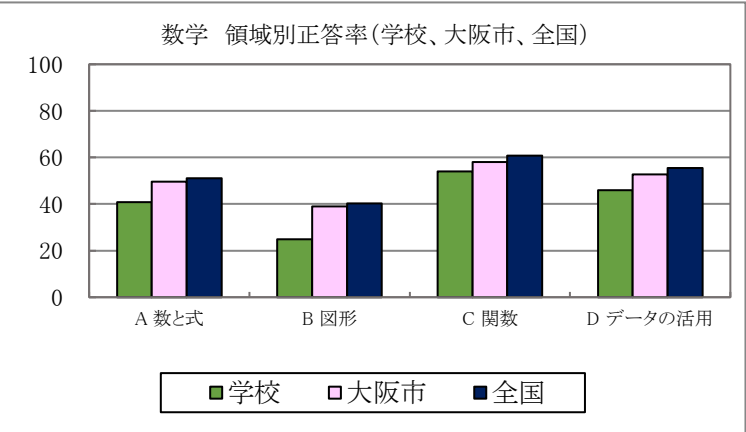
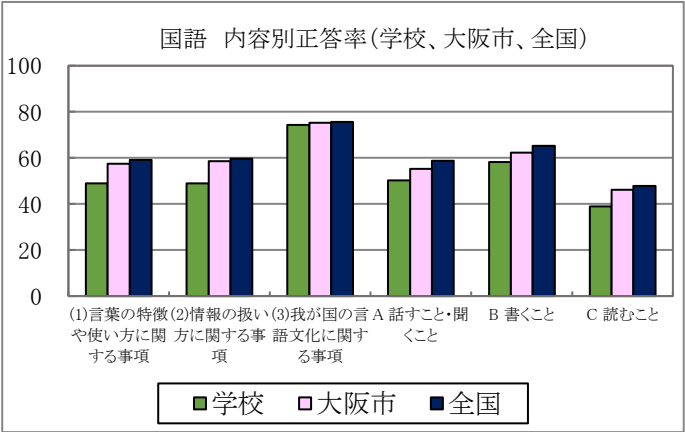


【国語】

学習指導要領の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	3	48.9	57.5	59.2
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	49.0	58.5	59.6
(3)我が国の言語文化 に関する事項	1	74.3	75.3	75.6
A 話すこと・聞くこと	3	50.2	55.2	58.8
B 書くこと	2	58.1	62.2	65.3
C 読むこと	4	39.0	46.2	47.9

【数学】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	40.8	49.6	51.1
B 図形	3	24.8	38.9	40.3
C 関数	4	54.0	58.1	60.7
D データの活用	4	46.0	52.8	55.5



令和6年度 大阪市立異中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

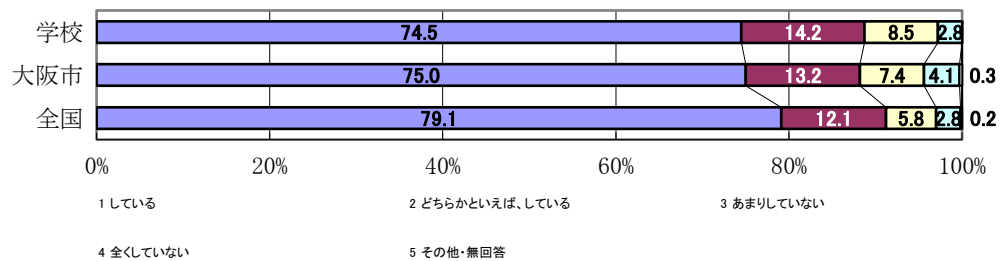
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

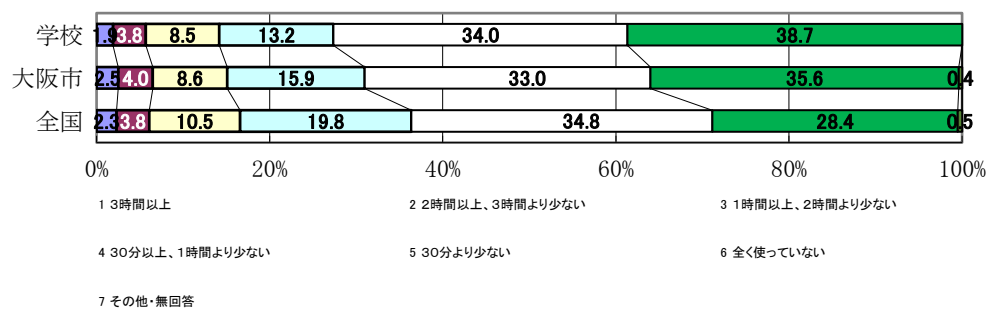
1

朝食を毎日食べていますか



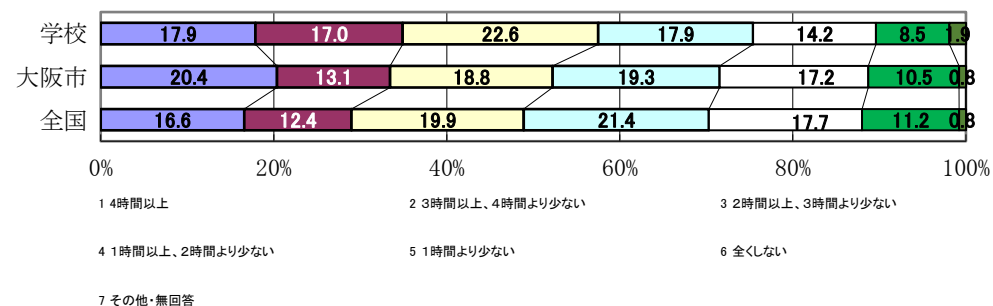
4

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）



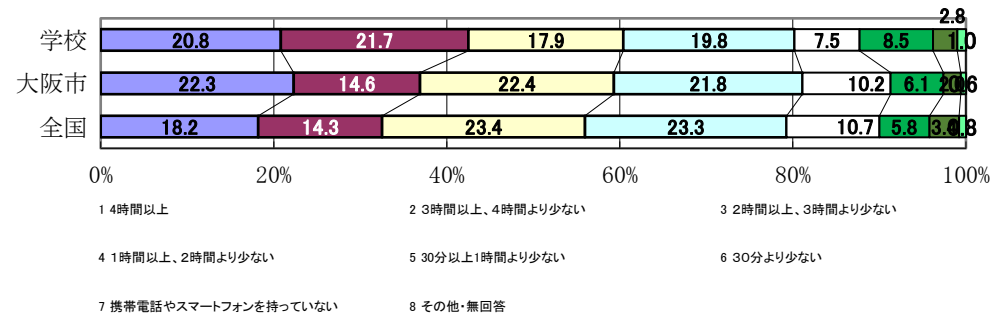
5

普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか



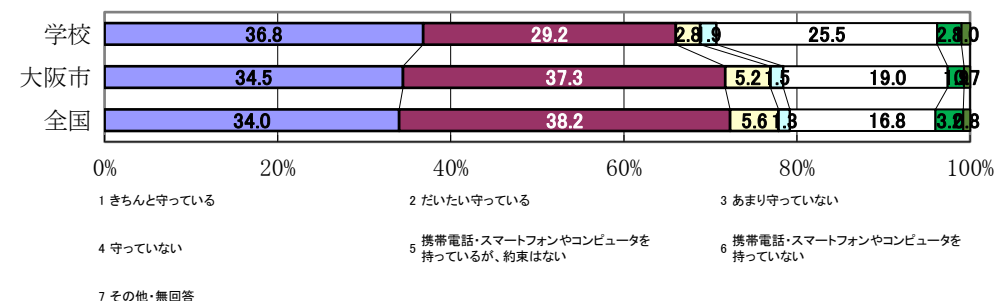
6

普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）



7

携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか



令和6年度 大阪市立異中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問より（26）

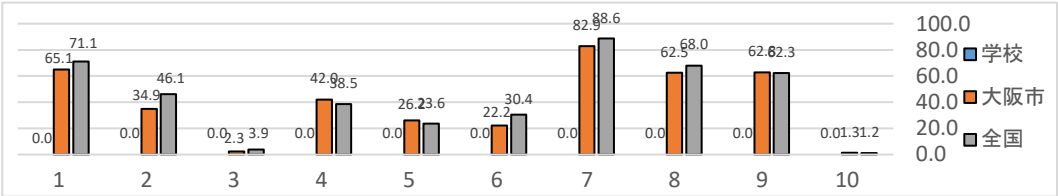
167

質問番号

質問事項

26

放課後や週末に何を
して過ごすことが多
いですか(複数選択)



1 学校の部活動に参加している

2 家で勉強や読書をしている

地域の活動に参加している(地域学
校協働本部や地域住民などによる
学習・体験プログラムを含む)

4 学習塾など学校や家以外の場所で
勉強している

5 習い事(スポーツに関する習い事を
除く)をしている

6 スポーツ(スポーツに関する習い事
を含む)をしている

7 家でテレビや動画を見たり、ゲーム
をしたり、SNSを利用したりしている

8 家族と過ごしている

9 友達と遊んでいる

10 1～9に当てはまるものがない